あすの時代を創るパートナーで

テロソンコーポレーション

菱木会長

テクノロジー研究開発

テロソンコーポレーションは、ナノサイズ（1ナノ＝百万分の1ミリ）の超微粒子で、染料や薬剤などを素材表面の奥深くに定着させる独自のハイテク技術「染めQ」を持つ。

染めQの技術は、畳を新品同様の色合いに復元する「タタミ染めQ」や、

人のやれないことをやる

1回の施工で、浴場、調理場、トイレなどに6カ月以上カビを寄せ付けない「カビ封じこれっきり」、送迎バスや客室の消臭・抗菌処理を行う「染めQテクノロジー」、屋外木部の保護塗料「染めQエコール」などに生かされている。

技術の特長は3つある。1つ目は、従来の塗料のような厚みが全くないこと。畳、じゅうたん、革張り・布張りのソファーを染めたように着色できる。

2つ目は定着力の強さ。染料や防カビ剤などの有効成分をナノレベルで素材の微細部まで浸透させるため、流出しにくい。

3つ目は体と環境にやさしいということ。例えば、カビ封じこれっきりの成分は、医療現場で消毒剤などとして人体に直接使用されている有機系複合剤なので毒性が少なく清潔（＝キレイ）にしよう」。この姿勢が長年の研究期間を経て、染めQに結実した。病院内の抗菌処理と抗菌白衣の開発にも取り組んでいる。「旅館・ホテルには、染めQの活躍場所が多い。宿の〝キレイ〟を保守させていただきたい」（同会長）。

■会社概要

■会社概要
本　　社　埼玉県幸手市上吉羽2100-79
創　　立　2002年２月
事業内容　テクノロジー研究開発、あらゆるモノの保護着色、あらゆる個所の抗菌、消臭など
資 本 金　5000万円　　**従業員**　約60人

消臭・抗菌ナノテクノロジー

詳しくはお問い合わせください。
染めQ　http://www.teroson.co.jp/
0120-229-309　〒340 0121 埼玉県幸手市上吉羽2100番地79
TEL0480・48・1000㈹　FAX0480・48・1005

シーナッツ

成田社長

予約通知の送受信サービス

――民事再生法の適用を申請した「マップジャパン」の予約通知配信サービスの事業を引き継ぎ、07年6月に営業を開始したシーナッツ（成田聖社長）。リクルートとJTBとの共同出資会社だが、設立に至ったわけは。

成田　マップジャパンの知名度はそう高くなかったが、商品である予約管理システム「TL」はどこの宿泊施設も知っているほど知名度が高い。日本の宿泊業のおよそ6万軒のなかで、TLを動かせるような規模の施設は多く見積もって8千軒と見ている。これまでの「TL―X」は3千軒弱に導入されているが、「TLシリーズ」で考えると5千軒ぐらい、かなり大きなマーケットを押さえている。インフラとして動いているので、もし止まってしまったら大変なことが起こるかもしれない。宿泊業界を支援するという理由がまず1つ。

マップジャパンの手掛けていた「通信」や「PMS」（基幹業務システム）の事業は、莫大な利益にはなっていなかったが、将来性は非常にある。宿泊業界の通信インフラがあまりにも整備されていないため、この市場は大きくなると予想され、ビジネスチャンスがあるからだ。インフラが整備されることで宿泊施設の時間とお金が浮くはず。それで生産性が向上し施設がもうかり、旅行業界がもうかる。宿泊・旅行業界がもっと大きくなることに関してビジネス的な投資ができればいい、というのが2つ目の狙いだ。

――インフラ整備が遅れている面とは。

成田　国土交通省のレポートでは、旅行会社による宿泊施設の在庫ブロックを問題視している。在庫ブロックは良いところも悪いところもあると思うのだが、例えば欧米は、一部ブロックしているが、基本的にはオープンな在庫を用意し、エージェントがそこから抜いて売る仕組みだ。日本は6、7年遅れているのではないか。

完全オープンは無理としてもオープン的に動かせるようになならない限り、結局は宿泊施設がもうからない。宿泊施設やキャリアがもうからない仕組みがこのまま進んだら、旅行業界自体が縮小するはずだ。もっと違うやり方が提案できたら、宿泊や旅行の市場が拡大することも考えられる。

――TL―Xを後継する予約管理システム「TL―Lincoln（リンカーン）」が、いよいよ09年3月に発売される。

成田　5つのポイントがあるが、特に訴えたいのは2つ。最も大きいのは、ネットとリアルそれぞれのエージェントを一元的に管理できること。他社では「1つの画面で管理できる」と言っているところもあるが、複数の画面を切り替えて作業するのが今のやり方。リンカーンはトップ画面の中にネットの管理系とリアルの管理系を一緒にした。すべての残室を一括して見られるし、それぞれの画面も開けられる。

2つ目は、データを送る時にPMS側で取りこぼれてしまうデータ量を減らしたこと。旅行会社やネットエージェントの予約通知は、会社によってそれぞれフォーマットが違う。それを翻訳してPMSに渡すのだが、受けるPMSのフォーマットもばらばら。これが欠落する一番の原因だ。

我々が調査したところ、最初の情報を100とした場合、施設側のPMSに落ちるデータは平均で40％ぐらい。リンカーンでは、これを80％ぐらいにしたい。

――残る3つのポイントは。

成田　残室やプラン、料金などを一括コントロールできること。特に、在庫を扱う責任者にとって一番怖いのはオーバーブッキングだが、ボタン1つで売り止めがかけられる点を強調したい。4つ目はASP化の実現。複数の担当者が同時に操作でき、出先でも利用できる。そして、データ集計が5つ目。販売先別や販売店別、プラン別の月次実績などを簡単に把握できる。

宿泊施設を元気にして観光業界を盛り上げる

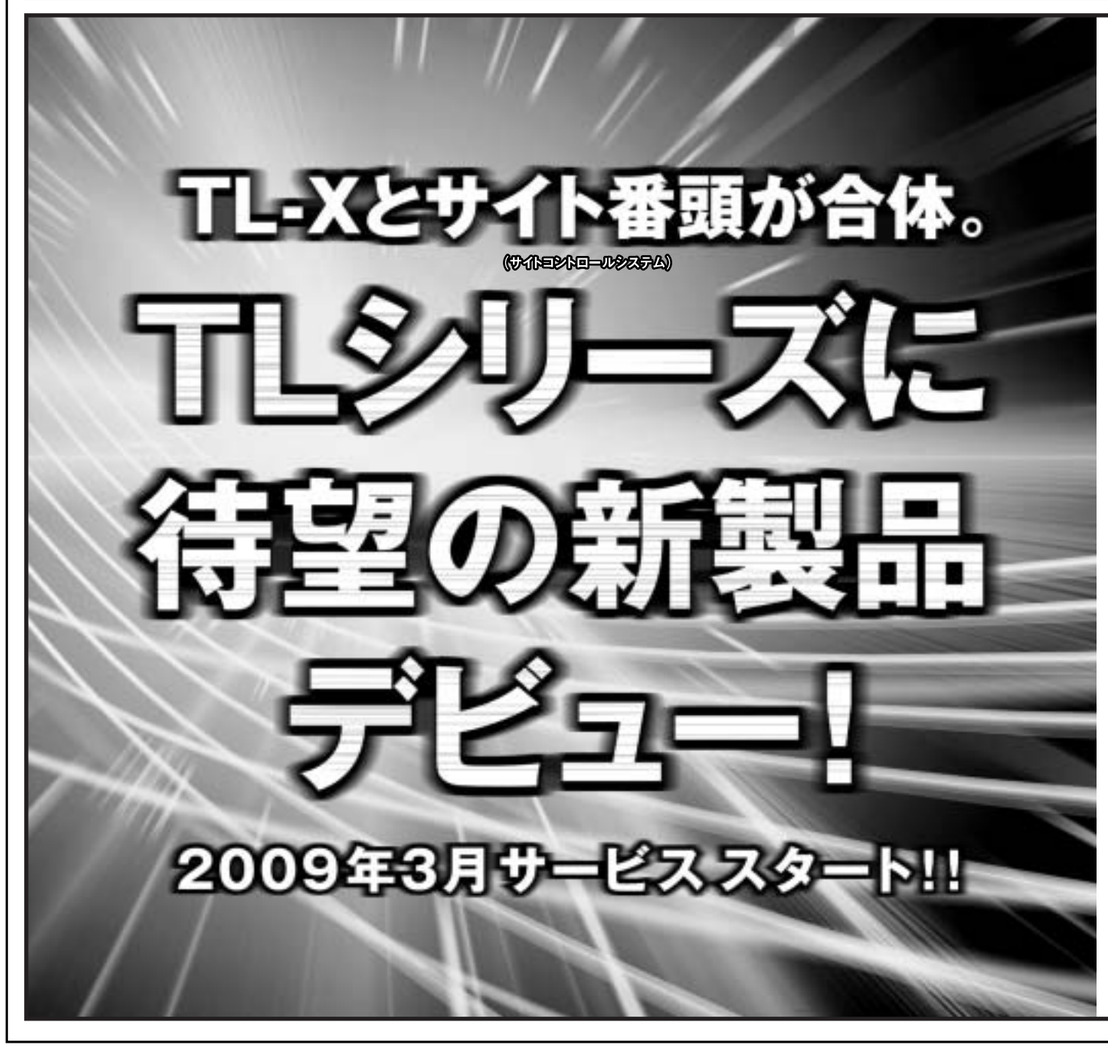
――新たな年に旅館・ホテルへメッセージを。

成田　リンカーンの名前の由来はいろいろとあるが、分かりやすいところでは、大統領の名前をお借りしている。「みなさんのために」という大きな意味合いを込めた。宿泊施設が元気になることが、地域が元気になることだし、それがきっと旅行業界にとって大きな発展になる。「ウイン&ウイン」と言っておきながら自分たちしかウインでないことがよくあるが（笑）、本当のウイン&ウインの形を望んでいる。

経済環境は厳しいが、観光庁も発足し、日本の観光ビジネスは大きな時代の変化の時だと思う。ぜひ皆さんと一緒に業界を盛り上げたい。

■会社概要

本　　社　東京都中央区月島1-3-2佃權月島ビルヂング４階
創　　立　2007年６月
事業内容　旅行会社や宿泊施設向け予約通知データの送受信サービス
資本金　４億9500万円
従業員　40人



TL-リンカーンで
予約管理システムが
変わります。

旅行代理店と ネット販売の予約・販売・残室管理が ひとつに集約できます。

販売チャネルの多様化により、予約業務がますます煩雑化しています。施設側ではチャネルごとのアプリケーションを用意する必要があり、それぞれがリンクしていないため、オーバーブッキングや売り逃しなどの問題が生じていました。TL-リンカーンは、旅行代理店やネット販売、自社販売の予約情報をひとつの画面で管理することが可能。残室が正確に把握できるので、販売チャンスを逃しません。

ASP化により 端末故障の心配がなくなり、 複数の担当者の同時利用が可能です。

TL-リンカーンは、予約管理システムがお客様側の専用端末にあるのではなく、センターサーバーに置いたシステムをインターネットを介して利用するASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）型のサービスです。だから端末の故障時には別のパソコンで代用することができ、出張先からの利用も可能。また、複数のパソコンからも同時にアクセスできるので、繁忙期などは何人かで作業を分担することができます。

PMS（ホテルシステム）への データ出力機能を強化し、 作業効率を大幅にアップします。

お客さまの名前や住所をはじめ、宿泊日や到着時間、食事など、エージェントから送られてくる予約情報にはさまざまなものがあります。しかし、すべてを自動的にPMSへ取り込めず、入力を手作業に頼る部分も多くありました。変更があればたいへんな手間。TL-リンカーンは、PMSへのデータ出力機能を強化しており、エージェントからの予約情報をスムーズに取り込むことができるため、作業の手間やミスを大幅にカットできます。

TL-Lincoln
TL・リンカーン

http://www.seanuts.co.jp
株式会社シーナッツ　〒104-0052 東京都中央区月島1-3-2 佃權月島ビルヂング4階　TEL:03-3536-9651 FAX:03-3536-9656
シーナッツ